

創傷のアセスメント(エコー、ICG、バイオマーカー、血行評価法、等)

創傷が良好な治癒過程にあるかどうかを早期に診断することは、縫合不全を予防するためにも、縫合後、瘢痕形成を招かないためにも重要なことである。現状においては、創傷治癒の過程を100%確実に評価可能な方法はない。本シンポジウムにおいては、創傷治癒過程を評価する様々なツールの有効性を提示していただき、今後の方向性について議論して頂きたい。